

第3回 WEB 信長の台所歴史検定「津島の達人」試験

注意事項

- 1、解答用紙に、正しく記入されていない場合は採点できないことがあります。
- 2、問題は、50問あります。(1つの設問で、複数問題のものがあります。)
- 3、設問【1】から【27】は、四者択一式です。ア・イ・ウ・エから正しいものを1つ選んで、解答欄に記入してください。

例えば、設問【1】に対して ア と解答する場合には、次のように記入してください。

1	ア
---	---

- 4、設問【28】から【37】は、記入式です。解答を解答用紙欄に記入してください。
- 5、試験時間は、60分です。

【1】昭和39年、耕地整理工事のとき、地下から井戸構造物と弥生中・後期の各種土器・パレススタイルの丹彩土器が出土し、2000年ほど前の弥生時代に集落が営まれていた遺跡であることが判明した。他に白鳳期の軒丸瓦なども出土し、古代寺院が存在していたことが分かった。



この遺跡名を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 埋田 イ 寺野 ウ 米之座 エ 北町

【2】橿原考古学研究所が2001年度に行った「「 a 」跡苑池遺構第4次調査」で、津島に関わる木簡が出土した。この飛鳥時代の木簡には、次のように記されている。



表「戊寅年十二月尾張海評津嶋五十戸」

裏「韓人部田根春「 b 」斗加支各田部金」

(2-1) 「 a 」の都を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 飛鳥京 イ 藤原京
ウ 平城京 エ 難波京

(2-2) 戊寅年は西暦何年か、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 678年 イ 708年 ウ 738年 エ 768年

(2-3) 「 b 」の貢納した物を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 酒 イ 干鮑 ウ 赤米 エ 塩

【3】平安時代中期に編纂された「式」(律令の施行細則)である「 a 」の兵部省諸国駅伝馬条には、尾張国にあった三駅が記されており、津島北部にあったとされる駅家は「 b 」である。また、この神名帳には海部郡の8座の神社名が記されており、津島市内にある神社は「 c 」である。



(3-1) 「 a 」の格式名を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 養老式 イ 弘仁式 ウ 貞観式 エ 延喜式

(3-2) 「 b 」の駅家名を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 埋田 イ 馬津 ウ 神守 エ 日光

(3-3) 「 c 」の神社名を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 津島神社 イ 寺野神社 ウ 穂歳神社 エ 憶感神社

【4】14世紀後半、津島では鎌倉仏教各宗派の中核となる寺院の進出が始まり、15・16世紀に多くの寺院が建立された。津島五ヶ村に建立された寺院群は「津島三十六坊」と呼ばれた。その36の寺院にない宗派を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 曹洞宗 イ 浄土宗
ウ 臨済宗 エ 日蓮宗



【5】室町時代から、主として東国を回って「講」を組織し、信者（檀那場）と津島天王社を結びつけた。神札頒布・祈祷を行った神職は「a」と呼ばれた。この津島天王信仰の布教活動によって津島神社の分霊社は全国で「b」社ある。



(5-1) 「a」を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 津島聖 イ 津島御師 ウ 津島法師 エ 津島神子

(5-2) 「b」の数を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 1,000 イ 2,000 ウ 3,000 エ 5,000

【6】津島には良王伝承がある。良王君の生涯は古書「a」で語られている。良王君の家系は、後醍醐天皇―「b」親王―尹良親王―良王君である。良王君は三河を経て永享7年(1435)12月29日、津島に入御され、その時に、津島の四家七名字が御供した。「c」は、永享8年に尹良親王のために良王君が創建したと伝えられている。



(6-1) 「a」の古書を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 海道記 イ 東関紀行 ウ 浪合記 エ 吾妻鑑

(6-2) 「b」の親王名を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 護良 イ 尊良 ウ 義良 エ 宗良

(6-3) 「c」の寺名を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

- ア 瑞泉寺 イ 大龍寺 ウ 不動院 エ 宝寿院

【7】『信長公記』の首巻には、信長らが津島で踊りを御張行した記事がある。

「七月十八日おどりを御張行
一、上総介どのは「 a 」の御仕立に御成り侯て、小鼓を遊ばし、女おどりをなされ侯。津嶋にては「 b 」庭にて一おどり遊ばしそれより清洲へ御帰りなり。
「 c 」の年寄共おどりの返しを仕侯。是又結構申すばかりなき様躰なり。」



(7-1) 「 a 」の扮装名を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 西王母 イ 天人 ウ 楊貴妃 エ 静御前

(7-2) 「 b 」の名前を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

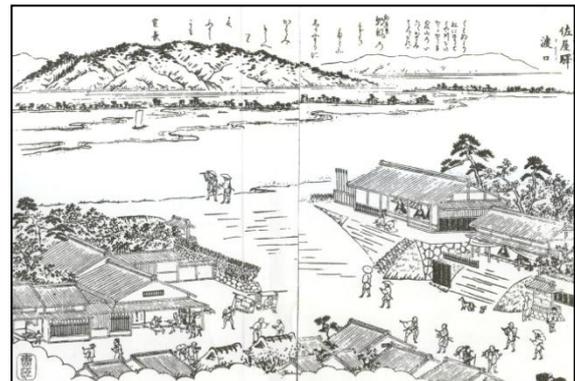
ア 氷室広長 イ 堀田道空 ウ 服部一忠 エ 平野権平

(7-3) 「 c 」の村名を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 市江村 イ 米之座村 ウ 津島三ヶ村 エ 津島五ヶ村

【8】江戸時代、佐屋街道の佐屋宿から桑名宿まで川船による結ぶ水路は、何と呼ばれたか、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア 一里の渡し イ 三里の渡し
ウ 五里の渡し エ 七里の渡し



【9】神守の出身で、塙保己一のもとで『群書類聚』の編纂に携わった国学者・歌人の名を、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア 真野時綱 イ 石原正明 ウ 氷室豊長 エ 堀田木吾

【10】大橋秋二は江戸時代後期の陶工である。茶事、画、詩歌と風流を好み、30代後半より陶器を好み京都の尾形周平に師事した。後に瀬戸で作陶に入る。晩年は美濃で窯をひらいたことから「 a 」の祖ともいわれる。

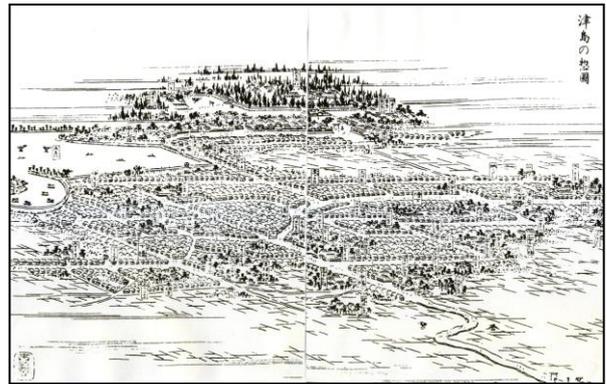
「 a 」を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 損斐焼 イ 多度焼
ウ 石津焼 エ 養老焼



【11】江戸後期の『尾張名所図会』には、津島村のことを次のように記している。

「古名を「 a 」といふよし諸書に見えたり。今は津島村といふ。尾西第一の大邑にして、縦横の町並「 b 」街、商家農工軒を並べ、萬物一として足らざる事なく、しかのみならず「 c 」、伊勢路への舟行、日毎に絶ゆる事なければ、諸国の旅客ここにつどひて繁盛大方ならず。実に一都会ともいふべし」



(11-1) 「 a 」の里名を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 桃花里 イ 桜花里 ウ 黄金里 エ 藤浪里

(11-2) 「 b 」の数を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 二十余 イ 三十余 ウ 四十余 エ 五十余

(11-3) 「 c 」の路名を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 尾西路 イ 木曾路 ウ 佐屋路 エ 美濃路

【12】明治初年に維新政府が神道保護と神社から仏教的な要素を排するために行った「神仏分離令」により、津島神社境内の神宮寺に安置されていた本地仏の仏像も撤去された。この仏像を、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア 薬師如来像 イ 阿弥陀如来像 ウ 十一面観音像 エ 釈迦如来像

【13】明治22年に津島村から津島町になった。津島市制を施行したのは「 a 」である。その後、神守村が津島市に編入したのは「 b 」である。永和村の一部、神島田地区が津島市に編入したのは「 c 」である。

(13-1) 「 a 」の年を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 大正2年 イ 昭和2年 ウ 昭和12年 エ 昭和22年

(13-2) 「 b 」の年を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 昭和10年 イ 昭和20年 ウ 昭和30年 エ 昭和40年

(13-3) 「 c 」の年を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 昭和21年 イ 昭和31年 ウ 昭和41年 エ 昭和51年

【14】明治以降、尾張西部では毛織物産業が発展した。この毛織物産業の興隆に貢献し、「毛織物の父」と呼ばれた津島の人物を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 片岡春吉 イ 墨宇吉
ウ 豊島半七 エ 江口弥一郎



【15】津島市の花は「フジ」、市の鳥は「シラサギ」である。市の木は何か、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア クロマツ イ マキ ウ イチョウ エ ホルトノキ

【16】瀬口哲夫（現、名古屋市立大学名誉教授）は、津島市本町筋に建ち並ぶ町屋内部に、お客を接待するための数寄をこらした和室が数多くあることから、津島市本町筋を「 a 」ロードと名付けた。

「 a 」を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア お茶室 イ おもてなし
ウ お祭り エ 小京都



【17】明治24年の自然災害を、次のア～エの内から一つ選びなさい。

ア 濃尾大震災 イ 伊勢湾台風 ウ 東海豪雨 エ 東南海地震

【18】津島神社の建造物について述べた文章として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア 南門は寛永3年（1626）の建立で、桃山時代の建築様式をつたえている。
イ 本殿は慶長10年（1605）に徳川義直によって寄進造替された。
ウ 国重要文化財の弥五郎殿社の本殿は一間社流造で、屋根は銅板葺である。
エ 国重要文化財の楼門は豊臣秀吉の寄進で、創建は天正20年（1582）である。



【19】津島神社の摂末社について述べた文章として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア 現在の八柱社は、建速須佐之男命の五男三女御子神を祀っている。
イ 現在の荒御魂社は、江戸時代には蘇民将来社と呼ばれた。
ウ 居森社境内の疹社は、建速須佐之男命和御魂を祀って、3社の中央にある。
エ 和御魂社の祭神は、櫛名田比売命である。

【20】天王川公園について述べた文章として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 平成 19 年に、天王川公園は「日本の都市公園 100 選」に選ばれた。
- イ 天王川公園の丸池の外周は、約 1,000 メートルである。
- ウ 天王川公園の藤棚は、長さ 275m、面積約 5,034 m²である。
- エ 天王川公園の中島には、杉浦兼松の銅像が建っている。

【21】津島の古寺について述べた文章として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 北町にある雲居寺の宗派は浄土宗であり、服部小平太ゆかりの寺院である。
- イ 成信坊の宗派は真宗大谷派で、円空の干体仏を所蔵している。
- ウ 「海東古禅林」と称された興禅寺の宗派は、曹洞宗である
- エ 不動院の宗派は天台宗であり、津島で最も古い寺院の一つである。

【22】津島の古寺について述べた文章として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 常楽寺は、津島牛頭天王社の氷室神主家の菩提所である。
- イ 蓮台寺は、「東之御堂」とも称され、宗派は真宗大谷派である。
- ウ 妙延寺は、日蓮宗寺院で、豊臣秀吉が手習いをしたと伝えられる。
- エ 今市場町にある貞寿寺は、浄土宗寺院で「西之御堂」とも呼ばれた。

【23】海部津島の名所旧跡について述べた文章として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 甚目寺観音の本尊は、如意輪観音である。
- イ あま市にある蓮華寺の宗派は、浄土宗である。
- ウ 大治町の明眼院は、天台宗寺院で、眼科専門の医療施設でもあった。
- エ 勝幡城は、永正年中（1504～1521）に織田信秀が築いたとされている。

【24】海部津島の文化財について述べた文章として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 弥富市の服部家住宅は、県内有数の古民家で、国登録文化財である。
- イ 蟹江町の龍照院の木造十一面観音立像は、国指定重要文化財である。
- ウ 飛島村の大宝六角れんが蔵は、県指定文化財である。
- エ 木曾川と長良川の間をつなぐ愛西市の船頭平閘門は、県指定文化財である。



【25】尾張津島天王祭について述べた文章として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 尾張津島天王祭は、安土桃山時代から始まった。
- イ 市江の車楽舟には、1年の月数を表わして12人の鉾持が乗っている。
- ウ 朝祭の津島の車楽舟は5艘、市江の車楽舟は1艘である。
- エ 朝祭の車楽舟の屋台には武者人形（置物）が飾られている。

【26】尾張津島秋まつりについて述べた文章として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 向島の山車祭は大土社の祭礼である。
- イ 神守の山車祭には北と南の2輛の山車が出る。
- ウ 市神社七切祭は正徳元年（1711）に始まった。
- エ 山車のお囃子には笛、太鼓の他に鉦もある。



【27】現代の津島市について述べた文章として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

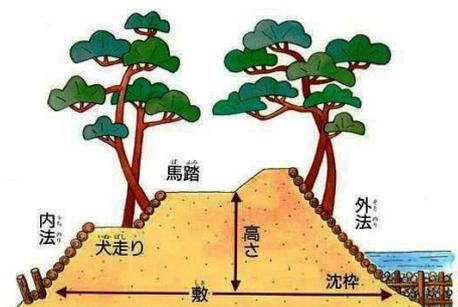
- ア 平成29年1月の人口は約63,700人であり、年々減少傾向にある。
- イ 平成29年1月の世帯数は、約15,000世帯である。
- ウ 市議会議員の定数は条例で16名と定められている。
- エ 津島市域の面積は、約35km²である。

※設問【28】～【37】は記入式です。解答を解答用紙欄に記入してください。

【28】現在、尾張津島天王祭は7月第4土曜日に宵祭、翌日の朝に朝祭が行われている。朝祭には華麗な車楽舟が出る。「車楽」の読み方を、ひらがなで書きなさい。



【29】治水や西国からの防御のために、徳川家康が伊奈忠次に命じて築いた堤防で、木曾川沿いの犬山から木曾川河口部にいたる約48kmの巨大な尾張の堤防は、何と呼ばれるか、漢字で書きなさい。



【30】「京都祇園祭の山鉾行事」、「博多祇園山笠行事」、「尾張津島天王祭の車楽舟行事」は祭が行われる神社の祭神が同じであるという共通点がある。中近世のその祭神名を、漢字で書きなさい。



【31】江戸時代、名古屋城下と甚目寺―木田―勝幡そして津島を結ぶ街道があった。この街道は何と呼ばれたか、漢字で書きなさい。

【32】津島の山車からくりにも、中国・朝鮮の服装で飾った子ども人形が、にこやかな表情で様々な動作をするものも多々ある。この子ども人形は何と呼ばれるか、漢字で書きなさい。



【33】津島には、難読な地名がいくつかある。例えば「萩原町」は「ばいばらちょう」であるが、「半頭町」は何と読むか、ひらがなで書きなさい。

【34】江戸時代、末法の濁世に僧侶や人々が名誉と利益ばかりに走っていることを深く憂い、中一色の西方寺を堅く戒律を守り念仏を唱える浄土律院とし、寺名を円成律寺（現、円成寺、中一色町）と改めた高僧の名を、漢字で書きなさい。



【35】宵祭の巻藁舟に取りつけられた、天空に延びる1本の長い棒には 12 個の提灯が飾られている。この棒は何と呼ばれているか、漢字で書きなさい。



【36】室町時代の津島五ヶ村は自治連合体であった。五ヶ村とは、米之座、筏場、今市場、下構と、もう一つの村名を漢字で書きなさい。

【37】津島神社ゆかりの縁起菓子であり、日本の和菓子のルーツとも言われ、江戸時代から津島の名産品で、米粉の団子を油で揚げた菓子の名を、ひらがなで書きなさい。



問題は以上です。お疲れさまでした。